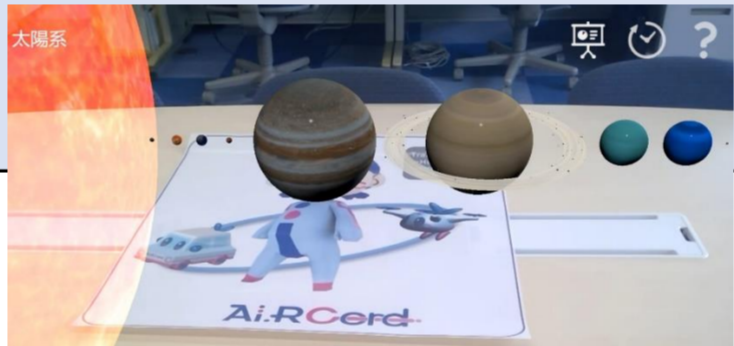


学年	1学年	2学年	3学年			4学年			5学年			6学年			合計	
学期	1学期～3学期	1学期～3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期		
言語	プログラムカード		フローチャート、プログラムカード、ビジュアルプログラミング						フローチャート、プログラムカード、ビジュアルプログラミング							
自由度	低		中						高(フローチャートは中)							
国語	正しい文しょうをつくるプログラミング(てにをは)		こそあと言葉を正しく組合せ				ローマ字を入力しよう!(『入力した内容がプログラムで動く』)		ローマ字を入力しよう!(『入力した内容がプログラムで動く』)	ロボットに正しい敬語を教えるプログラミング		ローマ字を入力しよう!(『入力した内容がプログラムで動く』)			6	
算数			長さをはかろう ※Ai.Rミュージアム			ゴールまでの位置をプログラミングしてみよう						多角形をプログラミングしてみよう		時間と距離をプログラミングして速さを比べてみよう	4	
英語						あいさつをプログラミングしよう(直列処理)			How many? 数・身の回りの物のやり取りをプログラミング(直列処理)	Do you like? 何が好きかのやり取りをプログラミング(条件分岐処理)	Do you like? 何が好きかのやり取りをプログラミング(条件分岐繰り返し処理)		英語での道案内をプログラミングしよう		5	
新しい生活/社会/理科	おうだんほどをあんぜんにわたるには?		わたしのまち・みんなのまち(ARビデオ)		太陽とかけの動き(日時計)		谷に囲まれた台地を見てみよう ※3Dモデル		わが国の国土の自然			建築物	月と太陽	太陽系	8	
各教科	Ai.Rミュージアム														1	
総合学習		しらべてプログラミングしてはっぴょうしよう ※Ai.Rミュージアム										ARアプリを作成しよう!(直列処理)	ARアプリを作成しよう!(条件分岐処理)	ARアプリを作成しよう!(条件での繰り返し)	ARアプリを作成しよう!(回数での繰り返し)	5
合計	2	0	3	0	1	2	2	0	3	2	1	4	1	2	29	



プログラミング的思考をフローチャートを使い、直列処理→条件分岐処理→繰り返し(条件分岐)→繰り返し(回数)を段階を経て学べるようにします。総合学習では、それぞれのARアプリを作成する学習ができます。※下記は英語と算数での例です。

プログラミングやローマ字入力、カードを使ったそれぞれのコンテンツ・アプリはカスタマイズや独自に作成ができます。シーン・場面を設定し問題に応じたモノ(リングなど)を置き、選択できるプログラムや正解のプログラム、正解・不正解時に実行されるプログラムを組み立てます。

